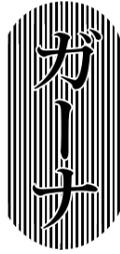


# はだしに纏しい大地



自動車整備士

夕暮れ迫るラグーンに静かに網がなげられた。ゆっくり引き寄せられた網に小魚が姿を現す。岸で待つしゅう長の前に置かれたカラバシの器が魚で満たされる。

人の漁師たちがラグーンに入り網を打つ、岸で待つしゅう長のまわりには夕暮れの静寂を破るドラムの音。儀式が終わると

ここギニア湾の荒波洗うケープコースト市はかつての黄金海岸（旧ガーナ）の首都である。そのケープコーストのお祭り、オグア・フェトゥウ・アフアシエ。独立前には民族意識をおおるといふことから禁止されていたと聞くが、現在は九月の初めに一週間の日程で行われる。

## オグア・フェトゥウ・アフアシエ

# 海に感謝する祭り

祭りの二日目はバカチエと呼ばれる漁解禁の儀式だ。いつもはたくさん漁師が胸まで水につき網を打つラグーン漁も、祭りの数週間前から禁止され、また神聖な地区ではドラムをたたくことも禁止される。漁解禁の日、まず選ばれた三

岸に待ちかまえていた漁師たちが次々とラグーンに入り、網を打ち始める。



このラグーンで取れる小魚は干し魚チナムに加工され、彼らの大切なたんばく源となる。この解禁の儀式には海の幸に

綱引きで実力発揮強い女性  
肝っ玉母さんは健在なりだ



かつらをつけ着かざった子供たちのパレード



振りまわしてパレードする男性

んだブイまで丸太をくりぬいたカヌーで競いあう。岸では女性対男性の綱引きが始まった。「私たちは女性」というかけ声とともに綱がぐいぐいと女性陣に引き込まれていく。ガーナの女性ほどにかく強い。肝っ玉母さん健在なり！

感謝の意味が込められているのだろう。ラグーンでは漁解禁に

先立ち、カヌーレースが行われる。遠くはナイジェリアまで船をこぎ、

西アフリカでは有名なガーナの漁師、ラグーン沖合百舢のところに浮か

## 九月の初め一週間の日程で

# 漁解禁の儀式皮切りにカヌーレースや綱引き



## クライマックスはパレード 底抜けに明るい踊りに アフリカの力

背お母は子供アムを踊る子してリズムを身につける

という感じだ。五日目には町の広場でいけにえがさきかけられ、六日目のパレードで祭りにはクライマックスを迎える。ガーナでは今もってしゅう長の権力が強く、パレードではパランキンというみこしにしゅう長を乗せて町を練り歩く。赤ん坊を背負ったお母さんがドラムの激しいリズムに大きな体を揺すり踊っている。子供はこうして母の背中でアフリカのリズムを身につけるのだらう。

## 暗い歴史ふきとぼすリズム

アサフオと呼ばれるかつての自警団のメンバーはカラフルな衣装に身を包み、踊りながら進んでいく。最終地点はすぐそばに奴隷貿易時代に奴隷を収容した城が今も残っているビクトリアパーク。かつての暗い歴史を感じさせない底抜けに明るい踊りに私はアフリカの人々の力強さをみる思いがした。

